愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	プレゼンテーション技術		
担当者(Instructors)	安藤 真澄	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

【考える力×伝える力を学ぶ】 この講義ではプレゼンテーションを行う際の説得力のある論理の構築方法、パワーポイントを使用する際のスライド作成の技術、スピーチによるプレゼンテーションのコツについて実践的に学びます。課題についてパワーポイントを作成し、口頭でプレゼンテーションを行います。スライドの書き方、図表の使い方、話し方、視線の向け方等について、実際の発表を見ながら指摘して、ノウハウを共有します。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	課題についてパワーポイントでスライドを作成し、口頭でプレゼンテーションを行います。必要に応じてネット検索やパワーポイント作成を授業中に行うので、スマートホン、パソコン、タブレット等を授業に持参してください。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	イントロダクション	講師自己紹介、授業の狙いと進め方、講義ノートの作り方等を説明する	□
第2回	プレゼンテーションとはなにか	提案の技術とは何か	□
第3回	プレゼンテーションの構成	プレゼン（プレゼンテーション）ストーリーの作り方	□
第4回	プレゼンテーションの表現	見出しの作り方、文章の作り方、図表の使い方	□
第5回	プレゼンテーションの参考事例	YouTube等を使って、説得力のあるプレゼンテーション事例を学ぶ	□
第6回	課題①自己紹介をパワーポイントを使っておこなう	自己紹介のスライドを作成する。自分はどんな人間であるか、どのように見て貰いたいかをプレゼンする。	□
第7回	発表	スライドを使って、一人3分程度のプレゼンを行う。 逐次、講評する。	□
第8回	効果的なプレゼンテクニック	スライド制作のコツ	□
第9回	効果的なプレゼンテクニック	口頭プレゼンでのコツ	□
第10回	課題②与えられた課題のプレゼンテーション	各自5-10分程度で課題について、パワーポイントを使用し、口頭でプレゼンテーションをおこなう。 課題の整理、アイディアの提案、なぜそのアイディアが適切なのかの理由、結論といった流れでスライドを作成する。	□
第11回	プレゼン準備	上記の続き 必要なデータや画像を収集する。	□
第12回	プレゼン準備	ストーリーの見直し、強調点の確認等	□
第13回	プレゼンテーション	各自5－10分程度で口頭プレゼンを行う 講評とディスカッションを実施	□
第14回	プレゼンテーション	各自5－10分程度で口頭プレゼンを行う 講評とディスカッションを実施	□
第15回	まとめ	全体の振り返り	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業前にテキストや参考図書に載っているヒントを試してみる。授業で提示するプレゼンテーションの事例を見て、ポイントをメモする。（2時間程度）。授業後にポイントを確認して、書き出す。自分でやってみる(2時間程度）。自分の考えを一度紙に書き出すことが大事。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題①は練習問題とします。課題②の口頭プレゼンテーション内容について講評し、プレゼンテーション資料については必要に応じて指導の上、評価をします。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019全学共通DP2	基礎学力を踏まえた専門知識と自らの経験を基に、創造的に考えたうえで、課題について的確に判断し、自在に表現、発信することができる。パワーポイントを活用した説得力のある口頭プレゼンテーションができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			90%	10%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

課題に対するプレゼンテーション資料と口頭プレゼンテーションの内容について総合的に評価を行います。
また、授業時間中に告知するパスワードにより、TOPOSへの出席登録を行うことで出席とします。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	高田貴久『ロジカル・プレゼンテーション　自分の考えを効果的に伝える戦略コンサルタントの「提案の技術」』英治出版、2004年	978-4901234436
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	前田兼利『社内プレゼンの資料作成技術【完全版】』ダイヤモンド社、2022年	978-4478115152
2		
3		
4		
5		